

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年09月20日

計画の名称	自由で安全に出かけられ、多くの交流が生まれる、住み続けたいと思えるまちづくり（重点）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	奈良県												
計画の目標	公共交通の持続性を確保するための好循環創出、公共交通による総合展開で「車」中心から「ひと」中心社会の実現（ウォークアブル）、新しいまちづくりと新たな交通結節機能の整備、駅を中心とした交通ネットワークの環境整備と利用促進により、安心して移動し続けられ交流が生まれるまち、歩行者を中心としたゆっくり巡りたくなる賑わい溢れるまち、人と公共交通を中心とした住みやすいまち、誰もが移動しやすくずっと活き活きと暮らせるまちを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,108	A	1,108	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4	R6	R8末
1	奈良市における公共交通利用促進を図る。			
	私事移動における交通手段分担率の増加	15%	15%	15%
2	奈良市における公共交通による観光入込客数の増加を図る。			
	公共交通による年間観光入込客数の増加	1571万人	1571万人	1571万人
3	奈良市における観光客の滞在時間の増加を図る。			
	観光客の滞在時間（日帰り）の増加	353分	353分	353分
4	奈良市内における鉄道駅利用者数の増加を図る。			
	八条・大安寺周辺地区に関する鉄道駅の利用者数（日乗車人員）の増加	19073人	19073人	19073人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標の当初現況値：1はR2時点／2及び3はH31時点／4はH30時点														